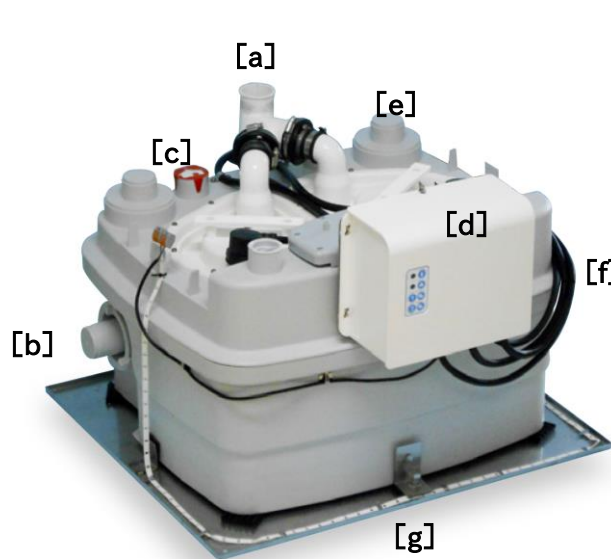
汚雑排ビッグ NA　施工説明書

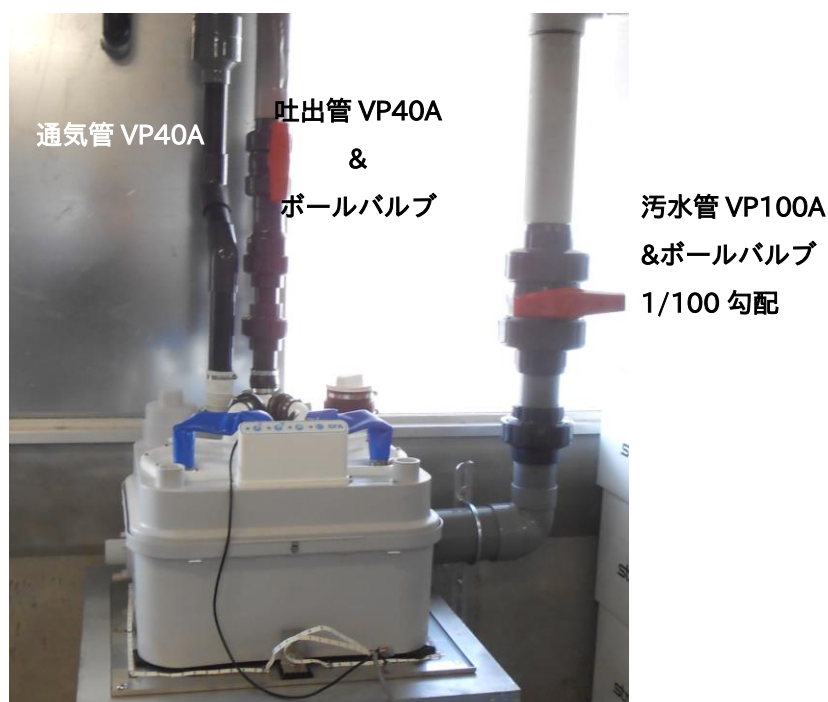
本書は設置施工後、お客様へお渡しください。

1.各部名称

[a]　吐出管接続口（40A）
[b]　排水管接続口（40/75/100A）キャップにて閉止
[c]　通気管接続口（40A）
[d]　コントロールボックス
[e]　点検口
[f]　電源コード（2 極接地極付差込プラグ）
[g]　漏水検知帯

2.付属品

[k]　通気管用ゴムジョイント 40　× 2 個
[l]　汚水管用ゴムジョイント 100 × 1 個
[m]　吐出管用ゴムジョイント 40　× 1 個
[n]　ホースバンド 100-120　× 4 個
[o]　ホースバンド 40-60　× 8 個
[p]　警報盤　×1 個
取扱説明書/保証書
施工説明書（本書）/警報盤の施工方法

3.配管施工例

汚水管 VP100A
&ボールバルブ
1/100 勾配

4.排水器具

（１）本製品は、台所流し、浴室、洗濯機、洗面器、手洗い器、大便器、掃除流し（SK/スロップシンク）、機器ドレン排水などの排水にご利用いただけます。

（２）上記に類する排水器具であっても、工場等の生産ラインの排水に利用するなど、生産が中断するおそれのある場合は、ご利用はお控えください。

（３）大便器のうち以下に該当する種類は、接続することはできません。

・洗浄水量 6L 未満の大便器

・フラッシュバルブ式の大便器

・泡洗浄による自動洗浄機能付き大便器（例．アラウーノ）

（４）ＳＫ（スロップシンク,掃除流し）などの砂や金属、ガラス破片等の異物が混入する排水器具は、ストレーナーや阻集器などを経由して接続してください。

ご注意！
洗浄水量が少ない節水型の大便器は、排水管内で詰りが生じることがありますので、洗浄水量 8L 以上の大便器をお勧めしています。洗浄水量 6L 未満の大便器（通称、節水型大便器）でも洗浄水量を変更できるものがあります。洗浄水量の変更方法は、製造者の施工説明書や取扱説明書などでご確認ください。

5.本体の設置と必要寸法

5-1.設置場所

（１）本製品の設置にあたっては、メンテナンスも考慮した適切なスペースを確保してください。

（２）本製品を隠ぺいする場合は、必ず、メンテナンススペースを確保し、メンテナンスに有効な点検口や扉、マンホールなどの開口を設けてください。

（３）本製品を地下などのピットに設置する場合には、ピットに直接出入りできるマンホールを設置してください。マンホールは、本製品の外形寸法以上の有効寸法を確保してください。なお、複数ピットがあり連通口がある場合でも、本製品の交換ができない場所への設置はできません。

（４）本製品は、高温、多湿または結露する場所に設置した場合、製品保障の対象外となります。結露するおそれがある場合などには、換気設備等を設置することをお勧めします。

5-2.設置に必要な寸法

（１）**上部の空間**　本製品の上部は、500mm 以上の空間を確保してください。

（２）**周囲の寸法**　本製品と壁面との距離は、排水管を接続する面においては 180mm 以上を確保してください（図 1 参照）。

（３）**設置レベル**　排水器具を設置する高さは、本製品の設置レベルから、排水器具の排水芯で＋250mm 以上、および、排水器具のあふれ縁で＋300mm 以上を確保してください（図 1 参照）。

（４）**点検口の寸法**　点検口の有効寸法は、600mm×600mm 以上、かつ本製品の外形寸法以上を確保してください。

（５）**メンテナンス作業空間**　本製品の周囲にメンテナンスの作業空間として、本製品から 300mm 以内に W850mm 以上×D600mm 以上×H1500mm 以上の空間が必要となります（図 2 参照）。点検口を設置する際は、原則として本製品の前面から 300mm 以内の位置に設置し、このメンテナンス作業空間に掛らないようにしてください。ただし、扉などを設置し開放時にこのメンテナンス作業空間が確保できる場合には、この限りではありません。

ご注意！（３）について
　本製品の故障等により排水できなくなった場合、接続されている排水器具のうち最もあふれ縁の低い器具から排水が溢れ出すことがありますので、必要に応じて系統を分けるなどの検討をしてください。
　また、UB（ユニットバス）や洗濯機防水パンなどのあふれ縁の低い排水器具を接続する場合には、満水センサーが感知する前に排水器具から溢れることがありますので、本製品の仕様図等で確認の上、設置レベルを決定してください。なお、設置レベルの目安は、設置器具の排水芯で[(満水水位)＋(20～50)mm]、設置器具のあふれ縁で[(満水水位)＋(70～100)mm]となりますが、設置環境や使用条件に応じた寸法を確保してください。

5-3.その他
・ポンプユニットは水平に設置し、必要に応じて本体トレーをビス等で固定してください。
・電源プラグは２極接地極付差し込みプラグです。専用回路にて接地極付コンセントを用意してください。
　また専用の漏電ブレーカー（20A・定格感度電流 30mA）を設置してください。

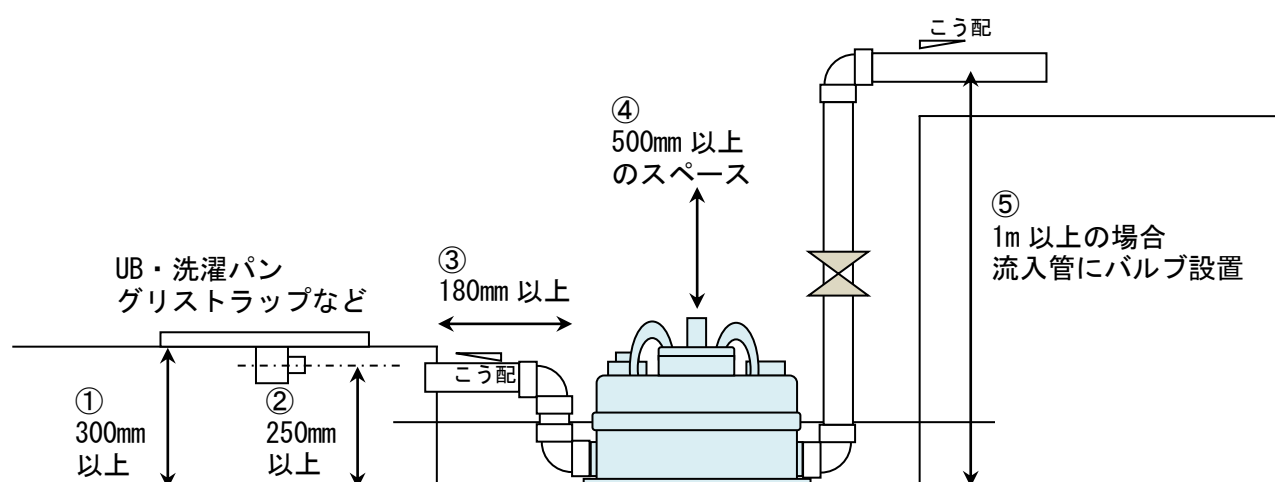



図１　設置に必要な寸法（汚雑排ビッグＮシリーズ）

a）平面　　b）立面

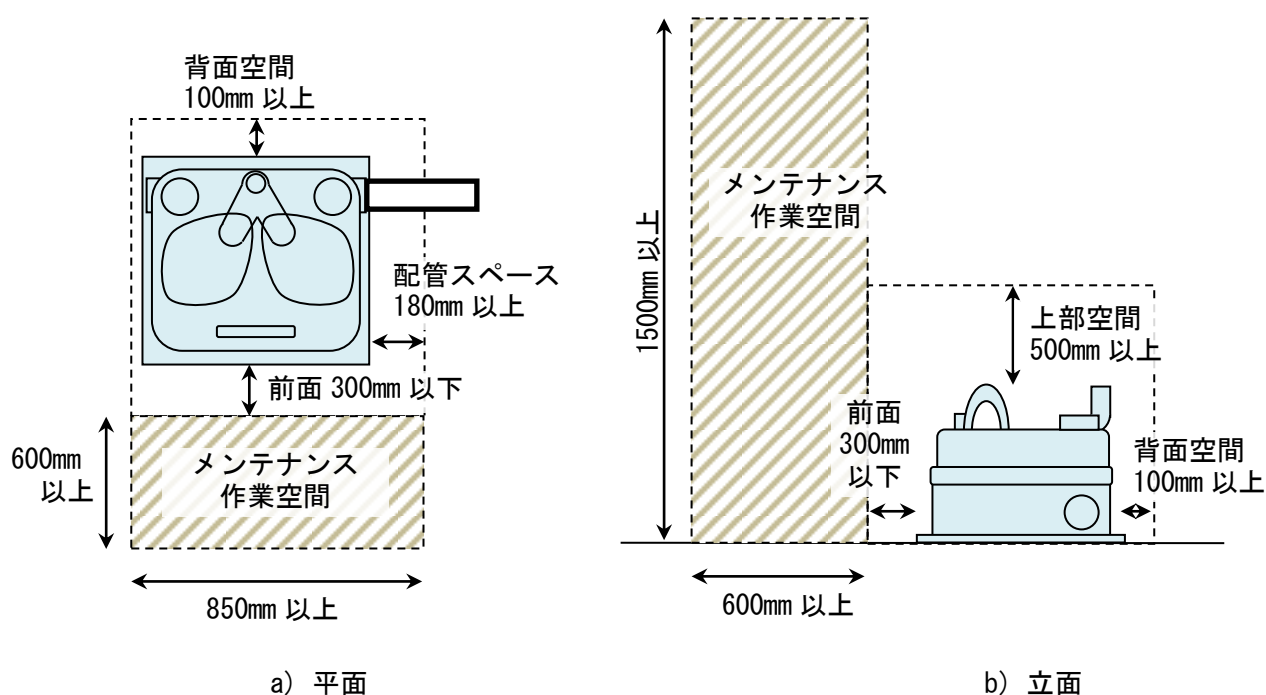
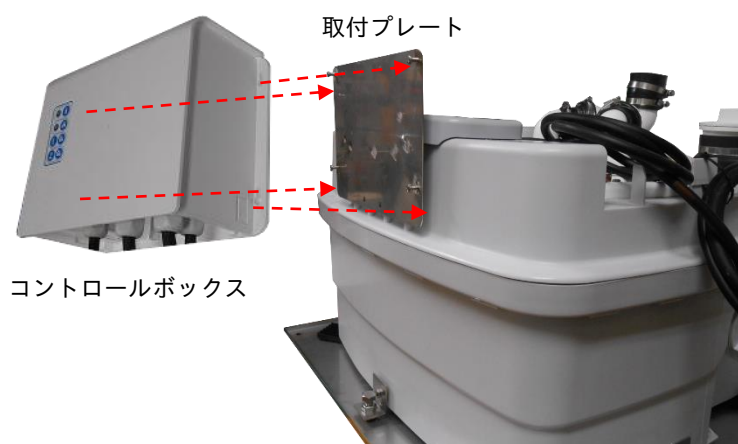



図２　メンテナンス作業空間の必要寸法（汚雑排ビッグＮシリーズ）

6. コントロールボックスの取付

取付プレートのネジにコントロールボックスのダルマ穴（4 箇所）を通し、ネジを締めて固定します。

7.吐出管の配管方法

①吐出管接続口に［m］ゴムジョイントを取り付け
　VP 管 40A を差し込み、［n］ホースバンドで締め付けます。

②吐出管にはユニオン付のボールバルブを必ず取り付けて下さい。
　（試運転調整やメンテナンス時などに必要となります。）

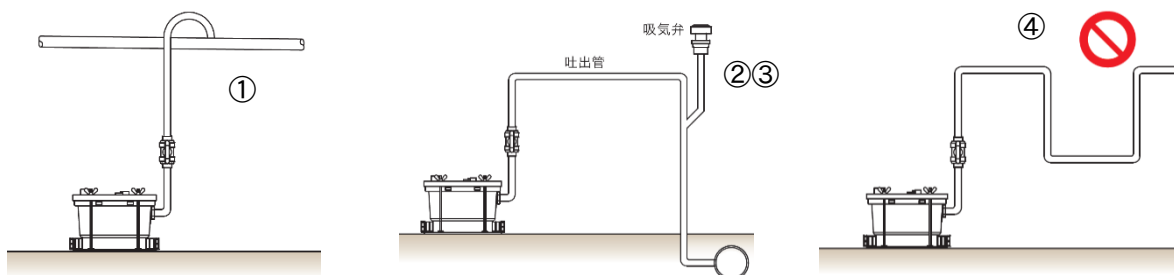
・逆止弁はユニットに内蔵されているため、吐出管への取り付けは不要です。

ご注意！

①横引き管に接続する際は上部より接続してください。

②吐出管を既存排水管に接続する場合は、十分な許容流量を持つ管径の排水管に接続してください。また、接続は横引き管の上部より接続してください

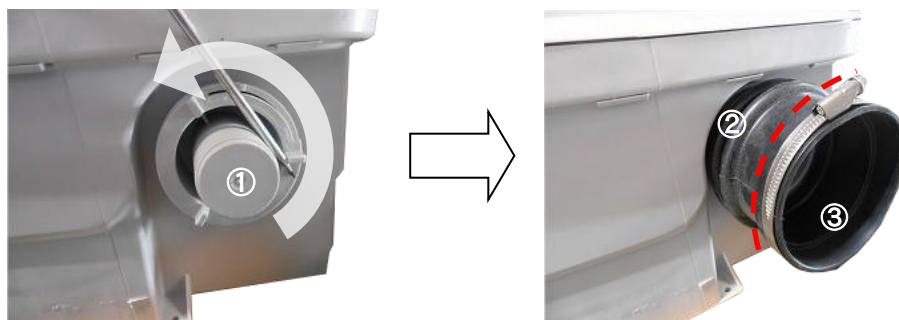
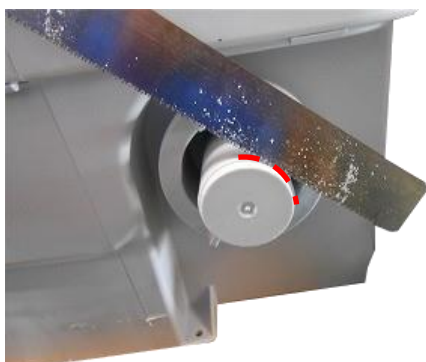
③吐出管を設置レベルより下げる場合はサイフォン現象を防ぐために適切な場所に吸気弁を設けてください。

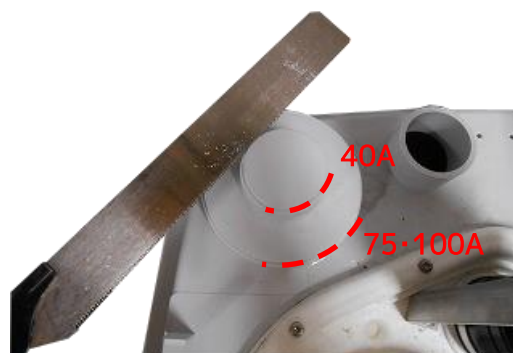
④吐出管は鳥居配管にならないように施工してください。

8.排水管の配管方法

8-1．下部排水接続部に接続する場合（75・100A）

①底部排水接続部プラグを左に回転し手前に引き抜き［l］ゴムジョイントを取り付けます。

②75A の場合　点線の箇所をカッター等で切取りエルボ又はソケットを差し込み［n］ホースバンドで締め付けます。**※75A のパイプは接続不可。75A 継手外径に適合します。**

③100A の場合　ゴムジョイントを切り取らず VP 管 100A を差し込み［n］ホースバンドで締め付けます。

8-2．下部排水接続部に接続する場合（40A）

点線の箇所を切取り［k］ゴムジョイント
［o］ホースバンドにて VP40A を接続します。

8-3．上部排水接続部に接続する場合（40/75/100A）

点線の箇所を切取り、
［k］または［l］ゴムジョイント
［o］または［n］ホースバンドにて接続します。

ご注意！
・器具からポンプユニットまでの配管は適切な勾配（管径 65A 以下　1/50 以上）で配管してください。
・ピットに設置する場合など流入管の高低差が 1m 以上ある場合は、本製品直近の流入管にバルブ（ボールバルブもしくはゲートバルブ）を施工してください（図 1 参照）。
・1 系統に 3 つ以上の設備を接続する場合、流入障害を防ぐために配管の適切な位置に通気管を設けてください。

9.通気管の配管方法

通気管接続口［c］に［k］ゴムジョイントを取り付け、VP 管 40A を差し込み、［o］ホースバンドで締め付けます。通気管端部は外気開放としてください。

ご注意！
ポンプユニットには吸排気が必要のため、吸気弁（ドルゴなど）の使用はできません。
通気管の施工が不能な場合は、当社のキャニスタ L(オプション)を施工してください。

10.警報盤の施工

別添の「警報盤の施工方法」を参照ください。

11.試運転

11-1.ポンプの試運転

・コントロールボックス［通電ランプ］が点灯していることを確認し、バルブを全開にします。

・［通電ランプ］が点滅している場合は［1 号,2 号ポンプ手動スイッチ］を押下し、点灯に切り替わることを確認します。

・ポンプユニットの点検口から注水、または接続されている器具から排水し運転と停止を確認してください。配管接続部などからの水漏れがないことを確認します。

・コントロールボックスの［1 号,2 号ポンプ手動スイッチ］を押下し、動作確認をします。

11-2.警報機能の確認

・吐出管バルブを締め切り、接続されている器具から排水し、満水水位（ポンプ内水位 250mm 前後）まで上昇させ、アラームが発報・警報ランプが点灯されることを確認します。吐出管バルブを全開にし、アラームが消えることを確認します。コントロールボックスの手動運転ボタン[1 号,2 号ポンプ手動スイッチ]を押下し、警報ランプが消灯すること確認をします

・漏水検知帯に水を付着させ、正しくアラームが発報されることを確認します。付着させた水を拭い、アラームが消えることを確認します。

■コントロールボックスの表示

通電ランプ（黄色 LED）
警報ランプ（赤色 LED）
1 号ポンプ手動スイッチ
2 号ポンプ手動スイッチ

有限会社スマートポンプジャパン　https://www.smartpump.jp/
東京都世田谷区北沢 3-2-16　TEL:03-5738-7440　FAX:03-5738-7441

警報盤の施工方法

1.結線実態図

電源線を直接警報器内の端子（0V・100V）に結線する場合は、コンセント・プラグは不要です。

2.取付寸法 （単位：mm）

3.結線図